



— 第628号 —
 新潟市中央区浜浦町1の1
 浜浦小学校
 電話 (025) 266-3181
<http://www.hamaura-city-niigata.ed.jp/>

「歴史と伝統」の正体

校長 小林 圭一

先月のこと、浜浦小に赴任するのを新
 聞で知った、と幼なじみが連絡をくれた。
 ついてはお祝いをやっているから、お前
 も来い、と言う。

連中とはつい先日会ったばかりだし、
 そもそも私がいけないのに「やっている」つ
 て何だ。それでも、分かった分かったと
 返事をし、そそくさと出かけていく。連
 中とよもやま話をするのが、最近は何
 よりの楽しみになっているのだ。

遅れて駆けつけた私の耳に、幼なじみ
 の一言が飛び込んできた。
 「浜浦小ってさ、『歴史と伝統の学校』な
 んだぞ。春から、しっかりやれよ」

見渡すと、他の連中もウンウンとうな
 づいている。「どの口が言ってるんだ」
 と毒づきつつ、私は内心ちよつとドキド
 キしていた。学校現場とは縁の無い彼ら
 が浜浦小の「歴史と伝統」を理解してい
 ることに驚き、また、私もそう思ってい
 るのを見透かされた気がしたのだ。

◆ 誰もが感じる浜浦小の「歴史と伝統」
 とは、いったい何なのだろう。私の思う
 「歴史と伝統」は、浜浦小のそれぞれの
 教室、それぞれの授業そのものだ。

初めて浜浦小の授業を見たのはずいぶ
 ん昔のことだが、記憶に残る光景は、今
 目の前にある教室、授業の光景ととても
 よく似ている。子どもたちはそれぞれに
 個性的なのに、学級集団や授業の全体像
 といったものには、当時の色合いがその
 まま継承されている。

◆ 「継承」を成り立たせているのは、教
 職員ではない。どんなに優れた教職員も、
 数年経てば異動となるのだから。

継承の最初の鍵は、子どもだ。良い教
 室・良い授業を経験した子どもは、魅力
 的な姿を見せるようになる。新たに赴任
 してきた教職員は、そんな子どもの姿に
 刺激を受け、それに負けない教室や授業
 をつくろうとする。つまり、教職員が子
 どもに教えられている。

◆ もう一つの鍵は、家庭や地域だ。小学
 生が学校で過ごす時間は、子どもが目覚
 めている総時間の3割程度と言われる。
 7割に当たる家庭・地域で過ごす時間が、
 子どもの育ちの多くを担っているのは間
 違いない。特に、意欲や態度に関しては
 そうで、良い教室の実現に不可欠な「一
 歩上に向かおうとする子どもの意欲」も
 例外でない。つまり、良い教室は、家庭
 や地域の支え無しには実現しない。

◆ 子どもに教えられ、家庭や地域に支え
 られた教職員が良い教室をつくる。良い
 教室で育った子どもはやがて、新たに赴
 任した教職員を刺激する。こうして生ま
 れる良質な循環が、さらに、途切れるこ
 となく継承され、ようやく「歴史と伝統」
 と呼ばれるようになる。

これは、決して簡単なことではない。
 それでも、これまで浜浦小にかかわった
 皆が、良質な循環を継承させた。
 今度は私たちの番だ。